

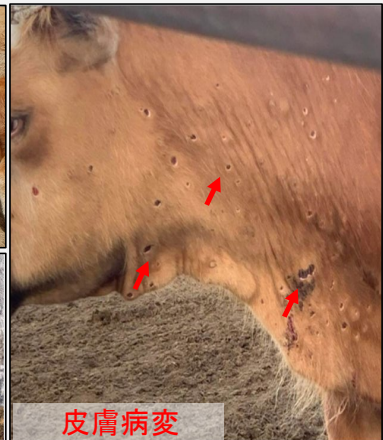
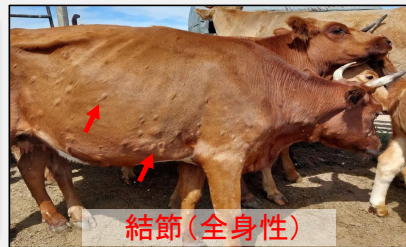
ランピースキン病

Point

国内で初めて(11/6)、福岡県下の乳用牛飼養農場で発生が確認されました
ランピースキン病は、ランピースキン病ウイルスによる牛の伝染病。
主に、蚊、ハエ、ダニの媒介による機械的伝播や、感染した牛の移動により感染が拡大します。感染した牛は、全身の皮膚の結節や水腫、発熱、泌乳量の減少などの症状を呈し、生産性に影響を及ぼします。

ランピースキン病を疑う症状

発熱、鼻汁
皮膚の結節
泌乳量の低下
リンパ節の腫大



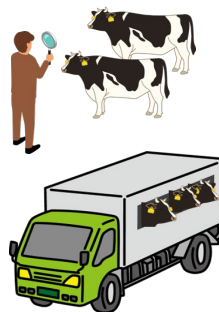
疑わしい場合は
直ちに連絡！

写真提供：モンゴル国中央獣医学研究所
(State Central Veterinary Laboratory in Mongolia)

ランピースキン病の侵入防止対策

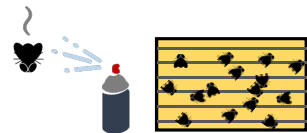
01 毎日の健康観察

早期発見・早期通報が重要。
疑わしい牛は隔離し、牛の導入、
出荷、移動時は健康観察を徹底。



02 害虫の駆除

殺虫剤の散布とともに、
粘着シート等も活用。



03 清掃・消毒

衛生管理区域内の整理整頓を徹底し、飼養管理に使用する器具や畜舎等の施設は清掃と消毒を実施。

04

血液を介して本病の感染が成立する報告もあることから、注射針、人工授精用器具その他体液が付着する物品を使用する際は、1頭ごとに確実に交換又は消毒を実施。

[平日]

家畜保健衛生所業務第一課 0743-59-1700
家畜保健衛生所業務第二課 0745-62-2440

[休日・夜間]

県庁守衛室 0742-22-1001